

令和6年度 第2回加西市総合教育会議

次 第

日時 令和6年10月22日(火)

15時30分～

場所 加西市役所 5階大会議室

開 会

1 市長あいさつ

2 教育長あいさつ

3 協議事項

(1)令和7年度予算について

(2)小・中学校の再編の進捗状況について

4 その他

閉 会

令和 6 年度 第 2 回加西市総合教育会議 出席者名簿

■ 加西市総合教育会議委員

所属・職名等	氏 名
市長	高 橋 晴 彦
教育長	菅 野 恭 介
教育長職務代理者	中 川 和 之
教育委員	楠 田 初 美
教育委員	深 田 英 世
教育委員	荒 木 努

■ 事務局

所属・職名等	氏 名
政策部長	深 江 克 尚
政策部 政策課長	柿 本 尚 一
政策部 政策課係長	谷 口 成 俊
教育委員会 教育部長	伊 藤 勝
教育委員会 次長兼教育総務課長	井 上 英 文
教育委員会 学校教育課長	小 坂 卓 司
教育委員会 こども未来課長	阿 木 博 信
教育委員会 生涯学習課長	北 島 悦 乃
教育委員会 図書館長	桜 井 雄一郎
教育委員会 総合教育センター所長	三 村 尚 彦
教育委員会 学校再編室長	中 井 孝 浩

令和7年度予算について

担当課	現状と課題	取 組
教育総務課	■市外通学児童生徒給食費補助金 加西市外の小学校、中学校に通学する児童、生徒に給食費相当額を支給する。	市外に通学する児童、生徒の給食費相当額を補助し子育て世代の負担軽減を図る。
	■給食センター食器購入 北部学校給食センターは平成 25 年、南部学校給食センターは令和 2 年に建設し調理業務を行っているが、設立から年数が経ち、食器・食缶等が摩耗等によりかなり傷んでいる。	計画的に食器・食缶等を新規購入し、更新を行う。
	■バリアフリー対策 校舎内のトイレの洋式化は完了しているが、体育館・運動場・プールについてはトイレの洋式化が行われていない。	児童・生徒の快適で良好な生活環境にするため、トイレ改修工事を実施する。 R6 体育館トイレ R7 運動場トイレ R8 プールトイレ
	■熱中症対策 学校において教室・特別教室にはエアコンを整備しているが、体育館には整備が出来ていない。記録的な猛暑が毎年のように襲う中、子どもたちを熱中症から守るために体育館へのエアコンの整備が必要である。	学校の統合に併せて整備を行う。また統合のない学校も順次整備を行う。 R7 泉中学校区統合小学校 R9 加西統合中学校 善防中学校区統合小学校 北条中学校 R11 加西中学校区統合小学校 北条小学校 北条東小学校 富田小学校

学校教育課	■加西の教育 3 本の矢 ①加西 BASE 学習指導要領に則り、学習の基盤となる児童生徒の資質能力の育成、基礎基本の定着を目指している。 全国学力学習状況調査は、前年度に比べ上向きとなった。加西の教育 3 本の矢の土台として、一層の充実を図る。	各種のサポーターを積極活用させたり、研究発表会や校内研修会を支援したりすることで、授業改善、きめ細やかで弾力的な指導の充実を継続して取り組む。 ・スクールサポーター事業 ・学力向上プロジェクト事業 ・かさいがんばり学びタイム
	■加西の教育 3 本の矢 ②加西 STEAM 探究的な学びの機会を創出したり、本物に触れて心が動かされる経験を積ませ、3C 人材の育成を目指している。 各校の特色を生かし、様々なスタイルで実践できている、2 年続けて世界的指揮者の西本智実氏を招き、音楽指導を行った。	各校の特色づくりを支援しながら、引き続き西本智実氏をお招きしたり、大阪・関西万博参加のバス代を補助する。 ・学校づくり×STEAM 推進事業 ・プロから学ぶ体験型音楽推進事業 ・大阪関西万博に係るバス代 (小学 4～6 年、中学 1～3 年) ・STEAM フェスティバル
	■加西の教育 3 本の矢 ③加西 GLOBAL 外国語教育の充実を通して、コミュニケーション能力を高め、地域や国境を越えて活躍するグローバル人材の育成を目指している。 外国語教育アドバイザーを任用し、外国語担当教諭や ALT の資質向上に努めたり、4 泊 5 日のイングリッシュキャンプを実施した。	外国語担当教諭の資質向上のための研修を充実させたり、イングリッシュキャンプの形を変えて継続させる。ALT 派遣については、令和 8 年度からの新たな契約の準備を進める。 ・国際理解教育推進事業 (英語力向上推進事業、国際交流事業、ALT 派遣、英検補助 等)

学校教育課	■教職員の業務改善 地域や保護者からのニーズの多様化や、新たな教育課題への対応のため、教職員の業務は多忙を極めている。 教職員の資質向上こそが業務改善への近道との考えの基、単なる働き方改革に留まらない包括的な改善策が必要となっている。	児童生徒と向き合う時間の確保はもちろん、教職員同士の語らいや研修の機会を削り出すために、新たに校務支援システムを導入し、業務のスリム化を図る。中学校の定期試験等には、継続してデジタル採点システムを継続して活用する。 ・フルクラウド型校務支援システムの導入 ・デジタル採点システムの活用
	■読書活動の推進 全国的に児童生徒の読書離れは深刻化しており、加西市の児童生徒も例外ではない。 第6次「学校図書館整備計画等5か年計画」に則り、学校図書館図書 of 整備や新聞配備は着実に進行しているが、学校司書の配置については未着手である。	学校再編を考慮しながら、各校への図書費の配分を検討し、一層の学校図書館図書の充実を図る。 加西市立図書館との連携により、学校司書の配置について取り組む予定である。 ・学校図書館コーディネート事業
	■特別支援教育の充実 通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒数は年々増加し、「通級指導」を希望する児童生徒数も比例して増加している。 障害や特性の程度や状態はそれぞれ異なり、個別のよりきめ細やかで効果的な支援や指導が必要となっている。	全ての教職員の特別支援教育に関する資質向上を図るため、個別の指導計画の作成補助や自己研修が可能な資料を含んだデジタルシステムを令和6年度に導入している。一層の活用を促進し、特別支援教育の充実を図る。 ・特別支援教育支援事業
	■学校徴収金管理システムの導入 学習教材費等に充てるための家庭からの集金は、学校が現金を手集めで行っている。保護者、教職員の負担が大きく以前から検討課題となっている。	これまでに他市町の状況も調査し、自動管理システム等の導入によって負担軽減を図れるよう協議中である。

こども未来課	■保育教諭の確保と人材育成 幼児期の教育・保育の質の向上を進めていくには、保育教諭の雇用と人材育成が大きな課題となっている。私立園の職員の雇用を促進するため、就労を開始した月から最長3年間、月額2万円、最大72万円の支援金を保育教諭に支給する。	・ 保育人材確保対策補助金 ・ 就職フェア等の雇用支援
	■保育料完全無料化(0～2 歳児)による保育教諭確保対策 子育てにやさしいまちづくりを目標に、子育て支援策として、また、保護者の就労意欲向上の支援策として保育料を無償化した。これにより増加している保育ニーズに対応し、0歳からの保育支援をするため保育教諭の確保対策を実施する。	・ 私立こども園等人材確保対策補助金 ・ 保育教諭宿舍借上げ補助金 ・ 保育補助者雇上強化事業補助金 ・ 保育体制強化事業補助金
	■北条東学童保育園の待機児童対策 北条東学童については2教室を開設していますが、令和2年度から主に4年生以上で待機児童が発生しています。 令和6年度の4月では4年生以上で8名、夏休み期間では低学年を含む11名の待機児童が発生しており、待機児童解消のため早急に施設整備を行う必要がある。	・ 北条東小学校集会室（給食調理棟）の改修工事を行い、学童保育棟として活用できるよう整備を行う。
生涯学習課	■学習機会の充実 幅広い世代の方が参加できる講座を企画、実施する。より魅力ある講座実施のための講師料増額等、費用の確保が課題である。また、主催講座から登録グループ化等、市民の自主学習の推進と活動継続のサポートに努める。	市民発案の公民館講座を募集し、時代に即した講座を企画、市民にとって魅力ある講座の実施を進める。 ・ 公民館講座ドラフト会議

生涯学習課	■オークタウン加西の環境整備 施設の老朽化が進んでいるため、順次施設の環境改善に取り組んでいく必要がある。	老朽化した施設の修繕を計画的に実施する。 ・施設周辺の駐車場及び通路の舗装
	■史跡玉丘古墳群整備、歴史文化遺産の保存活用 「史跡玉丘古墳群整備基本計画」に則り、古墳整備を進める。地域で大切に守り伝えられてきた歴史文化遺産の維持継承については、建物や用具等の老朽化、後継者の養成等が課題となっている。	・マンジュウ古墳復元整備実施設計、壇塔山古墳樹木伐採等の玉丘古墳群の古墳整備 ・「次代へつなぐ伝統文化継承補助金」、「歴史文化を活かしたまちづくり活動補助金」等による活動支援
	■埋蔵文化財緊急発掘調査事業 在田南部ほ場整備、加西インター産業団地整備に係る確認調査、本調査。	・在田南部ほ場整備事業に伴う確認調査実施 ・加西インター産業団地造成事業の確認調査実施
	■北部公民館、埋蔵文化財整理室の移転整備 老朽化した施設の改修を計画的に行い、移転整備に取り組む必要がある。 埋蔵文化財整理室は、整理作業、資料収蔵の施設であり、市民に貴重な文化財を公開するには狭さをはじめ課題が多い。学校再編にあわせ、北部公民館の移転整備とともに空き校舎の有効活用を検討する必要がある。	・空き校舎の活用を視野に入れ、北部公民館、埋蔵文化財整理室の移転整備を計画する。

総合教育センター	■教職員の資質・能力の向上 学校の小規模化による教員減の現場において、若手教員の割合が急増し、これまでの教育の継承やスキルの伝承が困難な状況にある。 授業力向上、ICT教育等の新しい教育への対応、多様化・困難化する生徒指導への対応等、これまで以上に教職員の研修が必要となっている。	総合教育センターでは、教職員の資質向上と専門性向上に向け、約40講座の研修を実施している。教職員のキャリアステージや専門分野に応じた講座、ICT活用等の新しい教育に向けた講座、生徒指導等の喫緊の課題解決に向けた講座、校内研修・教科担当者会を支援した講座等のさらなる充実を図る。
	■不登校支援の充実 全国的に不登校数が増加しており、加西市においても同様の状況である。不登校支援は、登校を目的とするところから、将来の社会的自立に向けた支援へと変わっており、多様な学びや、福祉的な観点からの居場所づくりの支援も求められている。 令和6年度は、全中学校内に校内フリースクールの設置を完了した。また、年度途中からではあるが、4つの小学校に不登校児童支援員を配置した。教職員、不登校生や保護者の評価は高く、通室生も増えているが、外出が難しく他者との生活を敬遠する児童生徒への支援といった課題がある。	学校による家庭訪問や別室登校、SCによるカウンセリング、「ふれあいホーム」と校内フリースクールの運営、SSWによる家庭支援や子育て支援課、地域福祉課や関係機関との連携といった、支援体制が構築されている。 令和6年度は、年度途中より4つの小学校に不登校児童支援員（謝金）を配置したが、令和7年度には4つの小学校に年度当初より不登校児童支援員を配置し、低年齢化する不登校児童の支援体制の強化を図る。
	■発達支援体制の充実 発達の特性により、支援を必要とする児童生徒数は増加しており、不登校生には、特性から感情や行動のコントロールが難しい等、集団への適応に困難を感じていることが要因である者も多い。 発達検査数は、9月末段階で70件を超え、保護者や学校は、支援や助言を必要としており、発達支援に関するニーズは年々高まっている。	発達検査や専門的知見から指導・助言ができる発達支援アドバイザー、スキルトレーニングを行う専門的知識とスキルのある発達支援アシスタントを確保し、児童生徒本人、保護者、学校の支援にあたる体制の充実を図る。

総合教育センター	■体験学習にかかる交通費補助 ふるさと加西市の地域教育資源を活用した「あびき湿原環境学習」「鶉野飛行場跡平和学習」、「飯盛野疎水や関連施設の見学」も取り入れ、体験学習として取り組んでいる。 各体験学習が教育課程に定着、拡充しているが、実施するには実施状況に応じた交通費補助額の確保が必要である。	令和6年度、交通費補助を希望している学校数は、「あびき湿原環境学習」11校、「鶉野飛行場平和学習」7校、「飯森野疎水や関連施設見学」11校であった。令和7年度も同程度の希望数が見込まれる。 交通費補助をすることにより、各校の体験学習の実施を実現させる。
	■学校運営協議会の充実 「地域に開かれた学校」から、目標やビジョンを地域住民や保護者と共有し、地域と一体になって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へ向け、令和5年4月に学校運営協議会が各校に設置され、コミュニティ・スクールがスタートした。	学校運営協議会の充実にむけ、研修会、各校の情報交換を行う連絡会も実施し、さらに理解と取組を深めていく。 令和7年度も、委員構成の見直しも想定し、昨年度と同様に各校最大12名分の委員報酬費の確保をしておく。
図書館	■資料の充実 図書館の活性化及び子どもの読書活動推進のため、多くの方に図書館を利用してもらいたい。継続的に新しい本を購入することで、図書館の利用者増につながる。	多様な利用者層に向け、図書館蔵書及び電子書籍を充実させる。紙と電子ともに資料を充実することで、学校連携の推進を図る。
	■集客力の向上 来館者数が減少しており、複合商業ビルに設置された図書館として、集客力の向上を図る必要がある。アステシアかさい内事業所との連携事業も含め、積極的なイベント展開が必要である。	イベント等の充実により、親子連れや一般利用者の来館を増やし図書館の活性化を図る。それとともに複合商業ビル内の回遊性を図るための施策を実施するなど、連携を強化することで全体の活性化を図る。

図書館	■図書館テラス床修繕 図書館が開館し 20 年が経ち、テラス床が経年劣化により腐食が進んでいる。このままでは、利用者がケガをする可能性があり、修繕をする必要がある。	状態の悪い部分について、利用の多いテラスから修理を行う。
	■図書館多目的トイレ修繕 多目的トイレ（男女 2 か所）の扉が経年劣化により扉の位置が下がって、重く開けにくい状況になっている。その都度修繕をしてきたが状況は変わらないため、改修が必要である。	多目的トイレは、車いす利用者や子ども連れの方など様々な方が利用される。安心して利用してもらえるよう、扉を開き折れ戸に変更し、軽く開けやすいものに改修する。
学校再編室	■統合中学校整備事業 令和 10 年 4 月の開校に向けて、基本設計・実施設計を進めるとともに用地取得等校舎建築に向けて関係機関（部署）と協議を進める。 開校準備委員会で学校名の選定やスクールバス等の検討をする。	地権者協議 設計協議 開校準備委員会の開催
	■統合小学校整備事業 令和 8 年 4 月開校の泉統合小学校の整備を進める。 開校準備委員会で学校名の選定やスクールバス等の検討をする。 令和 10 年 4 月開校の善防中校区の統合小学校の校舎改修に向けて協議を開始。	地権者協議（バスロータリー） 開校準備委員会の開催
	■遠距離通学児童支援事業 毎年、夏の気温が上昇してきており、小学校の遠距離通学児童の熱中症対策が必要となっている。 バスの確保、運転手の確保が必要	令和 7 年度からの運行に向けて準備をすすめる。

学校再編進捗状況

①泉統合小学校(令和8年4月開校)

【準備委員会及び説明会】

日 時	会 議	協議内容
R6.4.25	第1回開校準備委員会	学校名の募集・選定について、校舎の整備、通学バス
R6.6.20	第2回開校準備委員会	学校名の1次選定、体操服、学童保育、通学バス
R6.8.29	第3回開校準備委員会	学校名の2次選定、体操服、通学バス、校章・校歌
R6.9.26	保護者説明会(西在田)	・統合小学校について (校舎整備、学童保育、体操服、校名・校章・校歌) ・通学バスについて
R6.9.28	保護者説明会(宇仁)	
R6.10.1	保護者説明会(日吉)	
R6.10.3	保護者説明会(泉)	

【統合小学校整備事業】

年度	整備内容
令和6年度	校舎増築・改修工事設計、バスロータリー整備設計
令和7年度	バスロータリー用地買収・工事、校舎増築・改修工事

②統合中学校(令和10年4月開校)

【準備委員会】

日 時	会 議	協議内容
R6.6.27	第1回開校準備委員会	校舎整備について、制服、学校名の募集・選定について
R6.9.25	第2回開校準備委員会	校舎整備について、制服、学校名の一次選定

【統合中学校整備事業】

年度	整備内容
令和6年度	基本設計、用地交渉
令和7年度	実施設計、用地買収、造成工事
令和8年度	造成工事、建築工事
令和9年度	建築工事